

2年社会科

思考の変容をみるための「振り返り」

担当 阿南 幸一

【活動の目標】

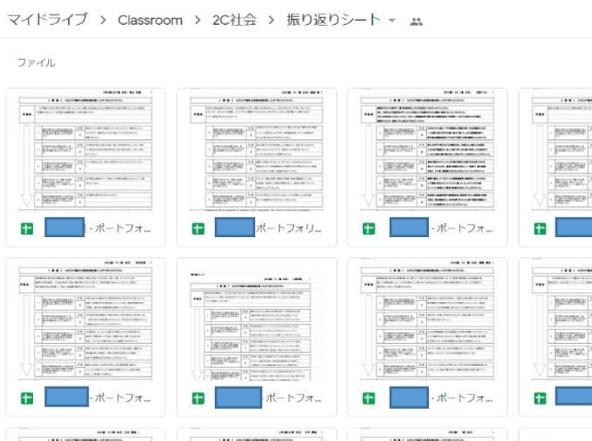
毎時間の生徒の振り返りをポートフォリオとして蓄積し、次の学びにつなげる。

【 問 い 】

単元計画の中に位置づけた振り返りによって生徒にどのような変容が見られたか。

今回 ICT を活用した場面	従来 の活動
<p>Chrome Book を活用して、本時の振り返りをやり取りする。(ポートフォリオ)</p> <p>①Google スプレッドシートで作成した振り返りシートを課題として提示</p>  <p>②提出された課題を確認し、返却をおこなう。</p>  <p>③これを単元を通して繰り返す。</p>	<p>ワークシートで振り返りをする。</p> <p>【ICT 機器を活用する良さ】</p> <p>○以前はワークシートに位置づけていた評価を一枚の学習記録 (ポートフォリオ) として、クラウド上のフォルダーで管理することができる。</p> <p>○単元を通しての生徒の思考の変容を見取ることができる。また生徒自身も自分の思考の変容に気づくことができる。</p> <p>【改善すべき点と原因および改善案】</p> <p>⇒ふりかえりのより良い活用方法の模索</p> <p>⇒効率的に評価へつなげるシステムの構築</p>

【資料】 ①クラウド上の管理画面



②振り返りシート

【 課 題 】		なぜ江戸幕府は長期政権を築くことができたのだろうか。	
学習前			
武家諸法度や禁中並公家諸法度などの制作で武士や朝廷を統制し、百姓に対しては五人組などの制度を作り安定して年貢を納めさせたから。			
1	幕府が諸大名や朝廷を統制できた理由を大名の配置や武家諸法度などの資料から考えることができましたか。	評価 4	禁中並公家諸法度で公家や朝廷を監視した。また武家諸法度を定め、参勤交代などの負担のかかる制度を作り、外様大名を江戸から遠い位置に配置したりして統制したことが回を通してわかった。
↓			
5	幕府が長期政権を築いた理由を政治・経済・対外政策の側面から幕府の諸政策と関連付けで考えることができましたか。	評価 4	領国によってもたらされた異國との関係や、日本国内での政治や経済の形について考えることができた。またその背景や理由を理解してまとめることができた。
学習後			
武家諸法度や禁中並公家諸法度等の政策や、外様大名を江戸から遠い位置に配置するなどして反乱を防いだ。また、様々な国と貿易を行ったり、百姓に対しては五人組制度を作り新田開発も進めたことで、利益や年貢を安定して得ることができた。それに加えてキリシタンが他國と結びつくことを防ぐために、キリスト教の布教を禁止して政治や経済をより有意にすすめた。これが幕府が長期政権を築いた理由だと考えた。			
○ 授業ごとに、評価の欄に、質問事項の評価を1～4の数字で記入して下さい。 4 : よくできた 3 : できた 2 : あまりできなかった 1 : できなかった			